

「第5期郡山市地域福祉計画（案）」にお寄せいただいた御意見等と本市の考え方

受付番号	御意見	本市の考え方
1	<p>まるごと相談の件数が多くなったことは、表からも理解しましたが、内容的に、複合的・複雑的と書かれています。また、課題解決には、長期的にかかると書かれています。・・・福祉の中で、どの様な分野が多くなっていますか？</p>	<p>福祉まるごと相談窓口への相談内容につきましては、生活費に関する事、病気や健康に関する事、仕事探しに関する事、障がいや介護に関する事などの相談が多く寄せられております。相談者の年代も幅広いことから、分野を問わず相談が寄せられているものと考えております。</p>
2	<p>福祉全体的にと言いながら、やはり全体的に高齢分野が多いように感じられました。例えば、防災・健康。全ての福祉の対象の方が、利用しやすい、利用出来るような内容が良いと思います。この計画を、もとに各福祉分野に計画が作成されるので、その分野に特化しなくても良いのではと感じました。</p>	<p>本計画は、地域福祉計画を中核に、成年後見制度利用促進基本計画及び重層的支援体制整備事業実施計画を一体的に策定することで、福祉分野全体を横断的・網羅的に示す構成としています。これらはいずれも、国全体および本市に共通する超高齢社会を背景に、地域共生社会の実現を目的とする計画です。現場では「障がいか高齢か」ではなく、両者が重なり合う複合化が常態化しており、その状況を分野横断で整理する過程で、結果として高齢分野に重心があるような印象を与えている面があるかもしれませんが、特定分野への特化を意図したものではありません。</p>

<p>3</p>	<p>防災と医療に関しては、交通(行く手段)の対応とアンケートの意見が書かれています。それに対しての、計画が書かれていません。</p>	<p>市民アンケートの結果からも災害時の避難支援や病院への通院といった「移動手段」に関するニーズが高いことは、課題として認識しております。これらへの対応として、本計画では以下のとおり関連する施策や事業を位置づけております。</p> <p>○防災（災害時の避難支援）について</p> <p>基本施策（２）地域における見守り支援体制の整備</p> <p>「避難行動要支援者避難支援制度」の登録勧奨や、登録者名簿を地域の関係者と共有することで、災害時における支援体制の整備を図ることを示しております。</p> <p>○医療（病院への通院）について</p> <p>基本施策（３）保健・医療・福祉分野の充実と連携強化</p> <p>市民の医療ニーズの増加・多様化に対応するため、医療・福祉の専門性と地域の力を結びつけた支援体制の強化を掲げております。</p> <p>また、「第４章 ２関連事業一覧」において、具体的な取組を設定します。</p> <p>例）関連事業 32. 避難行動要支援者避難支援体制管理事業</p> <p>高齢者や障がい者等の災害時の安全確保を図るため、個別避難計画の作成を推進し、具体的な支援体制を管理していくこととしております。</p> <p>関連事業 108. 高齢者健康長寿サポート事業</p> <p>75歳以上の方を対象に、路線バスやタクシーに利用できる共通利用券を交付し、通院を含む外出の支援を行っております。</p> <p>福祉分野の理念計画である「地域福祉計画」で、詳述できていない部分については、各分野の個別計画において、詳細な現状把握、各施策の数値目標を設定し、推進してまいります。</p>
----------	---	---

4	<p>福祉を利用する方が、この計画を見た時に、課題・複雑化・複合化・バックグラウンド等を持った(誰にとって)という表現が、権利侵害までとは言えないけど、気になる表現だと感じました。</p>	<p>ご指摘の「課題」「複合化・複雑化」「背景 (バックグラウンド)」といった語は、日常的にも使われる一般的な表現であり、本計画では、取り組むべき点や支援の方向性を分かりやすく示すために用いています。</p> <p>なお、これらの語は、個人を問題視する趣旨ではなく、支援や仕組みの改善点を整理するために使用しています。</p> <p>ご指摘の趣旨を踏まえ、本市は表現の受け止めに配慮しつつ、支援の方向性を明確に伝えるために、一般的な語を適切に用いてまいります。文言の変更は行いませんが、説明の充実と言語運用上の配慮に努めます。</p>
5	<p>委員会の委員の中に障がい当事者がひとりも入っていませんでしたので、委員として入らせてもらえらるよう追加意見をさせていただきます。</p>	<p>地域福祉計画策定委員会は、障がい者支援団体を含む関係団体、学識経験者、地域福祉活動関係者、公募委員等で構成しています。福祉の属性に応じた当事者の枠は設けていませんが、公募枠や意見聴取の場を通じて、障がいのある方をはじめ多様な立場の声を計画に反映しております。今後も、公募の周知や参加しやすい環境の整備を進め、多様な声をより一層計画に反映できるよう努めて参ります。</p>